

AutomationDesk Version 2.3 :
拡張されたテスト処理とレポート生成

Taking the Tedium out of Testing

テストの作成、実行、評価は単調な定型業務です。試験担当者の仕事ができるだけ容易になるように、テストと自動化のソフトウェアであるAutomationDeskが拡張されています。ユーザインターフェースと操作のさまざまな面が見直され改良されています。

単純化されたテスト開発

新しいAutomationDeskでは、テストシーケンスの検証が非常に簡単になり、開発中のテストでも簡単に検証することができます。1つのテストステップまたはシーケンスをスキップするには、ユーザは単にコメントアウトするだけでよく、それを元に戻すのも同じように簡単に行うことができます。このようにして特定のセクションをス

キップできることは、テストの開発時に非常に便利で、簡単にエラーを見つけることができます。

包括的なテストレポート

テストの実行が完了すると、AutomationDeskによって、正常に実行されたテストシーケンスと、そうでないものを示すレポートが生成されます。各レポートの最初



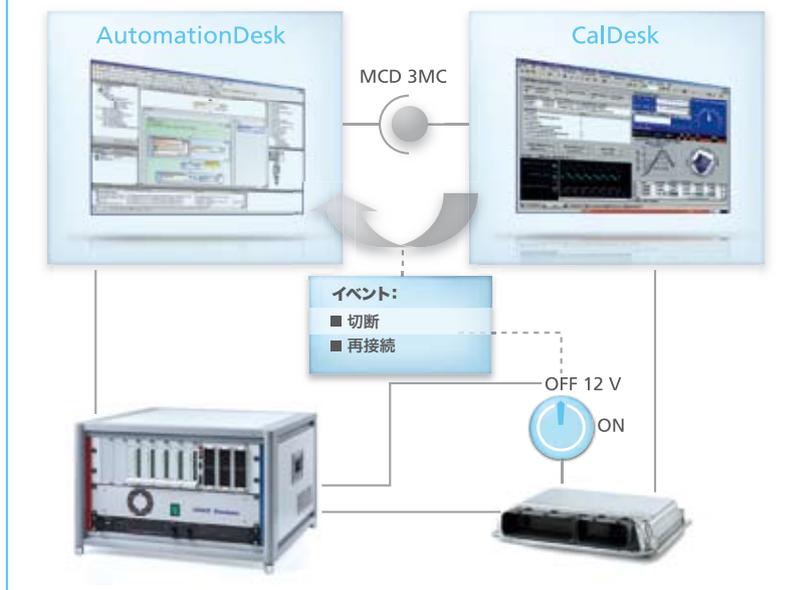
テスト結果の統計情報から、ソフトウェアの品質の現在の状態に関する情報をすぐに取得することができます。

の部分には、すべてのテスト結果を集計した統計情報があります。ユーザは、統計情報を含め、さらに詳細なレポートを出力することも、統計情報だけを出力することもできます。レポートには、重要なすべての結果が簡潔に表示され、テストを行った電子制御ユニット (ECU) のソフトウェア品質の評価および判定を簡単に行うことができます。

強化されたプロセス統合

dSPACE の個別のソフトウェア製品同士がスムーズに連携できることが重要です。そのため、AutomationDesk と、dSPACE の計測適合ソフトウェアである CalDesk 間の連携が強化されています。たとえば、HIL テストの際に ECU との接続が切断された場合、MCD 3MC インターフェースを通じて、CalDesk から AutomationDesk に通知されます。ECU は手でオフにして故意に切断することも、エラーによって切断されることもあります。故意に切断する目的は、1つの ECU が故障したときに、システムがどのように動作するかを調べることです。ECU の切断に対してテストを応答させることができ、必要に応じて、再接続に対しても応答させることができます。この発生時点は、テストレポートにグラフィカルに表示されます。

CalDesk と AutomationDesk がテストプロセス内で密接に連携しています。

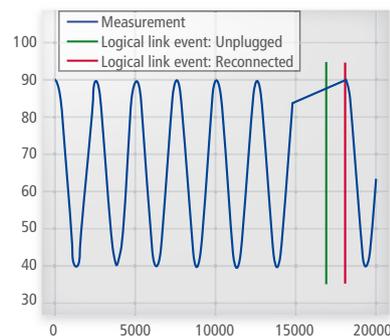


AutomationDesk は、すべてのユーザの新しい要件を満たすために常に拡張されています。

また、COM-API が拡張され、外部から AutomationDesk に簡単にアクセスすることができます。ユーザは、使用可能なすべてのデータオブジェクトを作成、読み取り、パラメータ設定することができます。テストシーケンスも実行することができます。これは、さまざまなパラメータ設定を使用して、テストを自動化および実行できることを意味します。

リアルタイムテストの管理

AutomationDesk にはさまざまなライブラリが付属し、広範なアプリケーションをサポートする定義済みのテストステップが含まれています。AutomationDesk のテストシーケンスでのリアルタイムテストの管理を容易にするための特別なライブラリが追加されています。自動化されたテスト内から特別なテストステップを通じて、

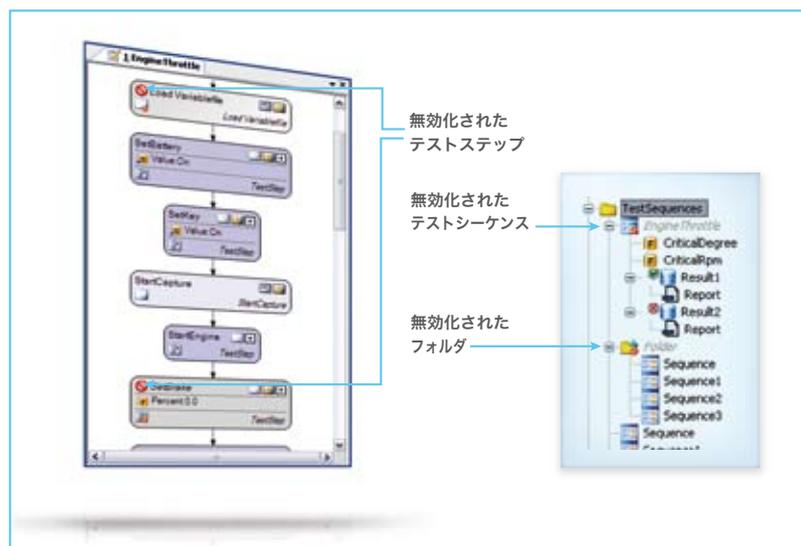


テストレポートには ECU の切断および再接続が記録されます。

これらのテストを HIL (Hardware-in-the-Loop) シミュレータにロード、および実行することができます。ユーザは、いつでもテストの状態を表示することができます。

リアルタイムでのテストの実行

また、新しい RS232 リアルタイムライブラリを使用して、DS1005 PPC Board および DS1006 Processor Board のオンボード RS232 インターフェースに直接アクセスすることができます。そのため、シミュレータの RS232 インターフェースにアクセスする必要がある場合でも、PC 上のモデルまたはスクリプト内にリアルタイムインターフェース (RTI) ブロックを記述する必要がなくなりました。これは、RS232 によるデータ交換をリアルタイムテスト内から完全に構成して、リアルタイム条件で制御できることを意味します。■



コメントアウトされたテストステップおよびテストシーケンスは無効化されます。無効化された部分はテストシーケンスのグラフィカル表示およびライブラリ構造でハイライト表示され、テストの実行時には無視されます。